

糸満市の財務書類をチェック

平成29年度（2017年度）決算



はじめに

財務書類とは、単年度の現金収支のみに着目した決算書とは異なり、これまでに取得した資産や負債等のストック情報を含める企業会計の手法を取り入れた決算書です。糸満市では、平成28年度から総務省が示した「統一的な基準」により財務書類を作成しています。ここでは、市民の皆様に分かりやすいよう、一般会計等の財務書類について、市民一人あたりの金額で概要を掲載しています。

貸借対照表

※（ ）内は一般会計等の合計額です。端数処理の関係で積み上げと合計が一致しないことがあります。

市民一人あたり※	
資産が	1,661,000 円
…固定資産や流動資産など糸満市の資産全体 (1,016.5 億円)	
負債が	334,000 円
…借入金などの将来負担する額 (204.5 億円)	
純資産が	1,327,000 円
…資産から負債を差し引いたもの (812.0 億円)	
※平成30年3月末日現在の糸満市人口 61,194 人	

貸借対照表は、現在の糸満市が所有する財産（資産）を一覧にし、それに対する将来の負担（負債）や純資産の状況を示す表です。なお、純資産は資産の合計から負債を差し引いたものです。

資産の内訳	固定資産（有形）	1,584,000 円
	…事業用資産や市道・建物等のインフラ資産	(969.4 億円)
	固定資産（無形）、その他	36,000 円
	…ソフトウェアなど無形資産、基金など	(22.1 億円)
流動資産		41,000 円
…現金預金や基金など		(25.1 億円)

行政コスト計算書

行政コスト計算書は、福祉や教育などを含む全ての行政サービスを行うために要した1年間の費用（コスト）を示す表です。純行政コストは、経常的に発生するコストから使用料などの経常的な収入を差し引いた上で、臨時的な損失を加算し、臨時的な利益を減算したものです。

市民一人あたり純行政コストは
376,000 円 (230.1 億円)

経常費用				
人件費 54,000 円 (33.3 億円) …職員の給与など	物件費その他 109,000 円 (66.5 億円) …施設の維持管理費や減価 償却費、借入金の利息支 払いなど	移転費用 238,000 円 (145.4 億円) …生活保護費や保育料の軽 減対策、各種補助金など	経常収益 19,000 円 (11.4 億円) …使用料や手数料などの経 常的に発生する収入	臨時損益 △ 6,000 円 (△ 3.8 億円) …資産売却などの臨時的収 入から災害復旧などの臨 時的費用を差し引いた額

純資産変動計算書

純資産変動計算書は、純資産が1年間でどのように変化したのかを示す表です。純資産は税収や国・県からの補助金収入などにより増加し、純行政コストにより消費されることで増減します。

前年度末純資産	1,332,000 円	(815.0 億円)
純行政コスト	△ 376,000 円	(△ 230.1 億円)
税収等	210,000 円	(128.6 億円)
国県からの補助金等	177,000 円	(108.2 億円)
その他資産の変動等	△ 16,000 円	(△ 9.8 億円)
市民一人あたり純資産は		
1,327,000 円 (812.0 億円)		

資金収支計算書

資金収支計算書は、年間の資金の増減がどのような活動により生じたかを示す表です。

市民一人あたり	9,000 円
前年度末残高は	(5.4 億円)
業務活動収支	17,000 円
(10.6 億円)	
…行政サービスのうち、毎年継続的に行われる活動に関する資金の収支	
投資活動収支	△ 5,000 円
(△ 3.3 億円)	
…公共施設の建設、基金の積立て・取崩しなどによる収支	
財務活動収支	△ 5,000 円
(△ 3.2 億円)	
…借入金の借入れや返済などによる収支	
市民一人あたり	
期末資金の残高は	
15,000 円 (9.4 億円)	



財務書類には、より詳細な財務情報が載っていますので、興味がある方は是非ご覧ください。